日本キリスト教団 **東金教会〔４〕**

2019年1月27日降誕節第５主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って…　コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	井	上村
奏楽	中	村
受付	今	井島
案内	中	延
名札係	安	波
礼拝感謝祈祷	戸	屋
〃　〃	土	
前奏	中	村
讃美歌３	一	同
使徒信条５６６	〃	
交読文４	司・会	衆同
主の祈り５６４	一	同
聖書 コロサイ書2:10〜11	司会	者
祈祷	井	上
新聖歌３８	一	同
み言葉の伝え〈キリストの割礼〉	中	村
讃美歌３５５	一	同
教師任職式		
讃美歌３３３	一	同
献金		
礼拝感謝	戸	波
〃　〃	土	屋
報告	井	上
頌栄５４１	一	同
祝祷(派遣)	中	村
後奏 新聖歌５８	聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会 1月30日(水)午後7時半〜
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
讃美歌委員会 本日「教会清掃」後
聖書輪読会 2月３日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 2月３日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日の教師任職式で阿波谷　　姉がＣＳ教師に任職です。宜しくお願い致します。
☆聖書協会最新訳聖書「聖書協会共同訳聖書」見本が受付にございます。購入希望の方は掲示板申込書にご記入下さい。
☆本日は教会清掃日です。お時間のございます方はご奉仕下さい。
☆清掃後第一回の讃美歌委員会をもちます。委員の方は宜しくお願いします。
☆クリスマス献金は１月27日現在594,000円でございました。使途につきましては以下の通りです。
・献金送付先
敬和学園,愛農高校,にじのいえ信愛荘,日本聾話学校,日本聖書神学校,支区教職互助献金,日本ユニセフ協会,支区社会部,千葉県テレビ伝道会,かにた婦人の村,のぞみの門,支区内諸教会(千葉台湾,木更津,北柏めぐみ,富貴島),東金教会出身教職,全国教会青年同盟,FEBC放送,止揚学園,マナの家,いのちの電話,佐渡教会,桐生教会,松江教会。その他幼稚園教諭及び教会諸奉仕者プレゼント、祝会経費等で教会出費総額は758,953円でした。
　尚、教会学校からは日本キリスト教団教育委員会へ、幼稚園からは東日本大震災,マナの家,東金マザーズホーム,成東緑海会,千葉いのちの電話,海外医療協力会,日本ユニセフ協会,国境なき医師団,国際飢　餓対策機構へ夫々献金が送付されました。
☆2月22日(金)教会学校生徒及び教会学校教師、幼稚園・保育園教師を中心に焼肉パーティーが予定されております。午後７時開始です。お肉200グラムの持ち寄りです。お時間のございます方はぜひご参加下さい
☆イースター(４月２１日)に受洗希望の方は中村牧師まで申出下さい。
☆２月に向かい日々寒さがつのり、又，インフルエンザ等が猛威をふるっております。お身体ご自愛下さい。

【1月27日〜2月2日の誕生者】

○澤本兄　○松原仁美　○青木兄
※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(1/20)	13	24	37
聖研祈祷会(1/23)	3	4	7
聖書輪読会(1/20)	2	3	5
教会学校(1/20)	9	7	16

早天祈祷会			
日	男	女	計
1/21	1	2	3
1/22	1	2	3
1/23	1	1	2
1/24	1	2	3
1/25	1	3	4

主日礼拝献金(１/２０)……２５,０００円
教会学校献金(１/２０)……７,３５０円

【今日のメッセージ】

題　［キリストの割礼］
聖　書　コロサイ書2:10〜11
1・キリストにおいて

2・キリストの割礼

3・カリストの割礼の恵みを守るもの

【次週(2月3日)礼拝案内】

題　〈死から命へ〉
聖　書　コロサイ書2:12〜15
交読文　5
讃美歌　6番　187番　354番　483番

【次週(2月3日)礼拝式当番】

御言葉の伝え…	中村
司式者…	土屋
奏楽者…	中里
受付者…	三枝
案内者…	中村
名札当番…	宮中
礼拝感謝祈祷…	藤田
〃　〃…	王
ｃｓお話し…	戸波
会堂清掃者…	幼稚園教諭
〃　〃…	
花係…	小林
看板書き…	澤本

【次週(2月3日)聖餐式当番】

配餐者……井上美代子・森川英男
祈祷者……五木田信義・岡部秀子

【聖書から】

シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を下ろしてみましょう。」と答えた。
ルカによる福音書五章五節

大漁の奇跡の前にシモン・ペトロの言葉が先行していることを挙げて、信仰的決断が奇跡を起こすと思われるかも知れません。信仰告白と従う謙虚さは信仰者の姿ではありますが、先行しているのは主の恵みであることを見落としてはなりません。仕事の手を止めイエスさまを船に乗せたり、疲れ切っている状況の中でもイエスさまの言葉に応えて漁を再開したりしたシモン・ペトロでしたが、彼の善意や決断の報いとして奇跡を体験できたのではありません。私達は奇跡体験を信仰の強さや自分に対する神様の働きの証明に結びつけるかも知れませんが、この聖書の箇所で注目すべきところは、イエスさまが招いてくださったということです。イエス・キリストの言葉と業に無頓着な私達であるにも関わらず主が働きかけ続けて下さったということです。シモン・ペトロが自分の知性と霊性でイエスというナザレ人をメシアとして認めたのではなく、神なる方が自分に訪れたことに触れたのです。今まで船に乗せていた方が、聖なる方であることに気づいたとき、今までは漠然としていた自分の罪深さに直面し思わず「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者なのです」と言ってしまったのです。この箇所をみますと、私達が生きておられる神の存在を身近に感じ、インマヌエル（神は我々と共におられる）の主の恵みを味わうということは罪の告白をすることと同じことかも知れません。順調だった日常が思わぬ局面に出会い、自分の経験、努力が意味を成さないように見える時、今までの平凡な日常が自分を越えた方の支えによって奇跡的なリズムで保っていたことに気づいた時、私達は主に出会い、その方を自分の生の主として改めて委ねることになるでしょう。その方に招かれ、交わりに加えられている恵みを味わいつつ歩む者になりたいと願います。

―一月二〇日　朴牧師説教―

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。